

2018平昌オリンピックをめざして

スケルトン選手

中山英子 40代アスリートの挑戦

スケルトン競技とは・・・スケルトンは鉄製のシンプルなそりに乗って氷のコースをうつ伏せで滑り降りる競技です。(仰向けで足から滑り降りるのはリュージュ)。コースによってレイアウトは全く異なり、最高時速は約120~140 km/時。全長約2kmを1分前後で滑走します。スイスのサンモリッツが発祥の地。



2002年ソルトレークシティー五輪で54年ぶりに正式種目に復活。強豪国はラトビア、ドイツ、カナダ、英国など。アジアで公式レースを行えるコースは今のところ長野市ホプスレーリユージユパーク「スバイラル」のみ(現在韓国に建設中)。日本ではマイナーな競技だが、欧米諸国では認知度が高く、テレビ放映なども行っている国もある。

「私、まだ速くなる気がする」

中山英子さん(高41回)は、信濃毎日新聞の記者として1998年長野五輪でそり競技を取材。この時スケルトンと出会い、2002年ソルトレーク、2006年トリノの両五輪に出場した異色のアスリートだ。40代半ばの今も現役を続け、2018年の平昌(ピョンチャン)五輪を目指す取り組みを紹介する。



ピョンチャン五輪を目指して

スケルトンと出会った当初は、競技会場となったそり競技施設「スバイラル」の、五輪後の活用「法」を考え、「スケルトンが重要な役割を果たさだろう」と興味を抱いていた。「一本自力で上から滑り降りてみたい」と考え、挑戦。初滑りは「すごく面白かった」。

それから18年、昨夏、ソリに乗り込むまでのスタートダッシュは自己記録を更新した。現在の自分自身の状況を丸ごと受け入れ、その中で最高のパフォーマンス

ンスを出す術を、彼女は身につけてつあるという。

昨年、地元の人々が中心となり「応援する会」を発足。厳しい平昌への道のりではあるが、信頼できる仲間を支えられ、歩みを始めた。

「まだやれる。五輪で自分のマックスを出してやり切りたい」という彼女の思いを広く皆に知ってほしい。

(高32回 小池英夫)

活動報告・中山さんの活動を支える支援等はオフィシャルサイトまたはブログ「スケルトンが止まらない」のサイトでご覧頂けます。

Result	
●2002年ソルトレークシティー五輪出場	12位
●2006年トリノ五輪出場	14位
●ワールドカップ最高成績	5位
●インターコンチネンタルカップ最高成績	3位
●日本選手権	優勝多数

Profile	
●1970年9月28日、長野県松本市生まれ	(同市在住)
ピョンチャン五輪時は47歳。プロテニス(のケルム伊達公子選手と生年月日が同じ)。	
●開智小学校、丸ノ内中学校、松本県ヶ丘高校、早稲田大学社会科学部卒業	
●信濃毎日新聞記者(2011年、競技に専念するため退社)	
●スケルトン競技歴 18年(1998年～)	

中山英子オフィシャルサイト

<http://www.skeleton-nakayama.com>

一漢方薬・ダイエット・免疫療法相談一

たかみや恵深堂薬局

薬剤師 高宮 深音 (高32回)

〒390-0811 松本市中央 1-26-1
TEL 0263-34-5056

URL:<http://www.keishindo.net>
mail:takamiya@po.mcci.or.jp

ITソリューション・ソフトウェア開発

AID

「信頼・安心」を大切に、お客様と心通うITソリューションをご提案します

代表取締役 戸谷 典孝 (高29回)

※アドヴァンスト・イン・コミュニケーション・デザイン

〒390-1701 松本市梓川 4082-1
TEL:0263-78-8003 (代表)
<http://www.a-i-d.co.jp>

地球にやさしいエネルギーをお届けします

サンリン株式会社

柳澤 勝久 (高25回)

東筑摩郡山形村下本郷4082-3

☎ 0263-97-3030 FAX 97-3040

<http://www.sanrinkk.co.jp/>